

## 2 地域の公共施設等における子ども読書活動の推進

### 子どもと保護者への取り組みの充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
22	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。4か月児健診時、市内4カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔126にも掲載しています。〕	拡充		受診者数 受診率	受診者数 3,370人 受診率 94.9%	平成19(2007)年4月より本格実施。資料の配布は受診者全員に行っている。絵本コーナーに立ち寄ってもらうよう声かけをし、赤ちゃんに絵本を読む楽しさを伝えるように工夫している。受診者と一緒に来所する姉妹も絵本に親しむ機会となっている。未受診者には保健師が訪問時に資料を配布し、保健センターにも一部常備して渡せるようにしている。図書館の赤ちゃん向けおはなし会への参加人数が増え、赤ちゃんの名前での利用者カードの登録もあり、図書館利用につながっている。それぞれの赤ちゃんと保護者に応じて絵本の楽しさを伝えることが課題である。年に1回、この事業に関わっている豊中子ども文庫連絡会・健康支援室・図書館による懇談会を開催し、情報交換や意見交換をしている。	市立図書館 健康支援室 子育て支援センター 豊中子ども文庫連絡会
23	乳幼児向けおはなし会「ほっとタイム」	就学前の子どもと保護者を対象に、おはなし会を子育て支援センターで定期的に行う。	拡充		実施回数	205回	定期的に行って欲しいと言う要望があり、今年度は回数についても増やしていき、さらに時間配慮で午後に行ったり施設内だけでなく公園に向かい行って行った。また「ほっとタイム」では年齢を限定していないので、1～2歳児向けの内容を中心に選び繰り返し読み聞かせることも大切にしたい。	子育て支援センター
24	遊び提供の場での取り組み	地域の子育てサロン・子育てサークル等に出向き、遊び提供の場での読書活動(絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等)を推進する。	拡充		実施回数	203回	子育てサロンや公園であそぼう事業、又保健センターや地域のサークルなど 出前保育の機会が増えてきて、遊び提供の中での絵本の活用は定着している。子どもも保護者も楽しみにしている。人数が多い中での読み聞かせは音楽を活用したり読み方を工夫して行っている。絵本をたくさん持って行って自由に読んでもらえるよう配慮している。	子育て支援センター
「毎回どんな絵本や紙芝居を読んでももらえるか、とても楽しみにしています。」遊びやふれあいに発展できる内容の絵本を提供、「だるまさんが」「先生なごむわー」「ぴょん」親子で「たのしいーもう一回」「もこもここ」「0歳の赤ちゃんなのに、こんな子でも見るんですね」								
25	絵本講座の開催	子育て支援センターで、保護者向けに子どもの読書の楽しさ、大切さを伝える講座を行う。	拡充		保護者向け講座実施回数	13回	図書館職員へ講師を依頼して支援センターでの講座を行った。さらに図書館と共催して図書館での講座を実施した。図書館で行うことで、図書カードを作って帰り、図書館を利用するきっかけづくりになった。年齢を分けて15名程度で行ったこともよかった。	子育て支援センター 市立図書館
「普段絵本を自分が読むことはあっても、読んでもらうということはなかなかないのでとても楽しかったです。」「色々な絵本があることがわかり選び方や読み聞かせ方も参考になりました。」「大人がいいと思う絵本と子どもがいいと思う絵本は違うと言うことに気づきました。」「図書館が身近になり司書の方に色々相談してもいいことが分かりました。」「本を好きになって欲しいと言う気持ちが強すぎて自分自身が楽しんでなかったことに気がつきました。」								

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
26	「子育て総合支援事業」	子育て・子育て支援講座や育児相談事業の中で、子どもと本に関する講演会や相談を行う。 全市立幼稚園(7園)実施	拡充		実施回数 参加者人数	5回 157人	絵本の楽しさを大人自身が実感できる講座として好評である。地域の保護者のリピーターも多い。乳幼児同伴の参加形態のため、会場設営で工夫や配慮が必要である。	幼児教育支援センターたんぼぼ
27	「たんぼぼひろば」	就学前の親子を対象に月2回または週1回遊びの提供の中で、毎回絵本の読み聞かせやエプロンシアター等を行うとともに、図書館、子ども文庫、関係機関を紹介する。また、地域の子ども文庫やボランティアの協力を得ておはなし会を実施する。 全市立幼稚園(7園)実施	拡充		実施回数 参加者人数		平成18(2006)年度で終了(各公私立幼稚園が地域の幼児教育センター的役割を担うことに伴い、平成18(2006)年度で終了)	幼児教育支援センターたんぼぼ
	フリースペース	就学前の親子を対象に週2回、親子でくつろげる場を提供する。また、毎回絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどを行う。(平成19年度より事業名変更)						
28	「たんぼぼ倶楽部」	未就園児の親子を対象とするプログラムで毎回絵本の読み聞かせを行う。	拡充		実施回数 参加者人数	8回×3 クール=24 回 計 75組	絵本、紙芝居の読み聞かせやエプロンシアター、大型絵本など活動内容にあわせて、毎回行った。また、劇遊びの活動を組み込み、親子でおはなしの世界をたのしめるようにした。	幼児教育支援センターたんぼぼ
29	「親子の学び場」講座	毎月1回(土曜日)「親子の学び場」講座を実施する。その中で、読み聞かせや子どもと本に関する講座を行う。	継続		実施回数 参加者人数	2回 64人	講座の内容やテーマに関連したおはなし会を行う。	幼児教育支援センターたんぼぼ

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
30	絵本等の貸出	幼児教育支援センターたんぼぼに図書スペースを設置し、フリースペースの参加者や子育て中の保護者を対象に絵本や子育てに関する図書の貸出しを行う。	継続		貸出冊数	利用者数 128人 貸出冊数 333冊	乳幼児向け図書が772冊、大人向け図書が20冊で合計792冊の蔵書がある。利用者の大半はフリースペースの利用者である。新しい本を平成21(2009)年度購入予定	幼児教育支援センターたんぼぼ
						「フリースペースで読んでもらった本を借りています」「同じシリーズものの絵本が気に入っているようです」「ほとんど借りたので新しい本が借りたい」		
31	情報相談(レファレンスサービス)	子育てに関する相談の中で絵本にふれる機会を提供する。	継続				情報相談事業で子育てに関する相談を受けた折に、情報提供のツールとして、絵本やブックガイドを紹介し、ライブラリーで作成したブックリストの提供を行う。	すてっぷ
32	お父さん・おじいさんへの働きかけ	お父さん、おじいさんなどに絵本への関心を広める機会の提供を行う。	継続		リスト掲載冊数・配布枚数	30冊、参加者20組に配布	「おとうさんといっしょ」を実施した際にブックリストを作成・配布した。	すてっぷ
					参加人数	服部図書館4人、千里図書館88人、庄内図書館68人	服部図書館での「えほんにたっち」をお父さんも参加しやすい土曜日に実施、4人の参加があった 「みんなあつまれわくわくランド」に参加(千里体育館・庄内体育館で実施、地域の子育て支援機関のひとつとして図書館も参加、目的のひとつに「男性の育児参加を促す」がありコーナー内に「お父さんと楽しむ絵本」を展示した、えほんコーナー参加人数=千里/大人40人子ども48人、庄内/大人35人子ども33人)	市立図書館
33	子育てグループ活動への支援	公民館グループで活動する子育てサークルに子どもの読書に関する講座や情報の提供を行う。	拡充				各グループから依頼等あれば情報提供を行っている。	公民館
34	講座の開催	読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。	新規				すてっぷが実施するうえで、どのような提供方法があるか検討中。	すてっぷ
35	保護者向け講座の開催	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。	拡充		参加人数	256人	講座として、蛸池公民館・図書館・いずみ保育園・アトリオとねやま保育園・蛸池子育て支援センター・幼児教育支援センターたんぼぼの6施設共催事業を開催。内容は、絵本よみかせ・手遊び・体操などを行った。次年度も地域と連携した事業として位置づけ継続して行います。	公民館 公民分館
						518人(5回)	平成20(2008)年度途中より、月1回程度千里公民館にて「千里親子ふれあい広場」を開催。内容は、絵本よみかせや手遊びなどを行い、親子の絆が深めた。次年度も継続して事業を行う。	

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
36	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続		参加人数	夏休み、冬休みおはなし会51人	夏休み・冬休みスペシャルとして、実施した。月2回実施のお話会は、幼児の参加が多いため、スペシャルとして小学生向けの読み聞かせを行った。	すてっぷ
	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続		回数参加人数	11回140人	図書館と連携・協力して毎月第2水曜日午後3時からおはなし会を継続して実施しており、事業が定着している様子が伺える。少人数ではあるが低学年や障害のある子どもが参加し、参加者同士の会話を楽しみながらおはなしの世界に引き込まれている。高学年は自分で読む読みものが身近なようで、おはなし会に参加する子どもは少ないが、中学生などは絵本を懐かしみ参加している。絵本や紙芝居だけではなく、ブックトークなども取り入れて内容を工夫している。より多くの子どもたちが参加してくれるような実施方法や場所等検討し、21年度から学校の授業数が変わったことを受け、おはなし会の時間を午後3時30分から行うこととする。	豊中人権まちづくりセンター
	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続		回数参加人数	87回782人	毎週水曜日と金曜日の午後3時から4時まで、「たのしい集い」という取り組みを行っている。絵本や紙芝居の読み聞かせ・紹介や工作を実施し、継続的に、子どもが本と出会う機会を提供している。	庄内少年文化館
	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続		実施回数	年間・12回18クラブ ・11回8クラブ ・10回1クラブ ・5回2クラブ ・3回1クラブ	放課後こどもクラブに定期的に「おはなしボランティアポケット」などによるおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。41クラブ中30クラブで実施している。	子育て支援課
37	図書リストの配布や子どもへの学習相談	男女共同参画及び自己尊重の心を育むための図書リストを作成し、配布する。また、学校司書や教員を通してのレファレンスに応じる。	継続		作成回数リスト掲載延べ冊数 図書館・小中学校等配布枚数	夏休みリスト、16冊、1,000枚	夏休みのブックリストの作成、展示「13歳からの絵本」、児童書特別展示、夏休み学習相談などで引き続き対応。関連図書リストは、小・中学校と関連施設に配布した。	すてっぷ 小・中学校関係施設

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
38	「たんぼぼ通信」	年4回発行の「たんぼぼ通信」の中で、毎回絵本の紹介を掲載し、絵本に関する特集記事や図書館、子ども文庫に関する情報を掲載する。現在市内公私立幼稚園・関連諸機関で配布。	拡充		発行部数 発行回数	10,000部×4回(年)	幼稚園における絵本に関する取り組みを紹介したり、おはなし会や図書貸出しなどの催し情報を提供した。	幼児教育支援センターたんぼぼ
39	子育て教室	就学前児童の保護者や子育てに関心を持つ人が、必要な知識を学習する機会に子どもの読書に関する情報の提供を行う。	拡充				平成20(2008)年度は、公民館講座としての実施は出来なかったが、今後も実施を検討していきたい。	公民館

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
40	絵本コーナーの設置	保健センター等に絵本コーナーを開設し、健診時に親子で絵本とふれあう機会を提供する。	継続		設置箇所数	2カ所 183冊	庄内保健センター、千里保健センターに設置。事業のため窓口にて来所された親子が待ち時間を利用して、絵本に親しんでいる姿が見られる。絵本の管理についての課題がある。	健康支援室 市立図書館
41	絵本コーナーの充実	絵本コーナーの充実、貸出し等、親子がやりとりしながら絵本に親しめる環境づくりをする。	継続		絵本コーナーの展示替え回数	21回	年齢にあった内容、春夏秋冬季節感なども考慮して絵本の選定をしながら、コーナー作りに取り組んだ。おもちゃを手取るような感覚で絵本に親しんでもらえるようアピールの仕方や展示の仕方など工夫していくことが今後の課題である。	子育て支援センター
42	絵本コーナーの設置	地域支援保育士が配置されている施設において、絵本コーナーを新たに設置する。	新規				保育所と共同で絵本コーナーの充実を図った。絵本の貸し出しも行いとても好評。絵本を通して親子の会話が豊かになった。継続していくことが課題	子育て支援センター
43	読書環境の充実	すてっぷのキッズコーナーやプレイルーム、情報ライブラリーの絵本を充実し、子どもが身近に絵本と親しむことができるようにする。	継続		おはなし会実施回数 参加延べ人数	24回、 838人	おはなし会を月2回とスペシャルも実施し、おはなし会で読んだ本は貸出ができることを紹介し、手に取れるようにブックガイドや関連本も合わせて紹介する。	すてっぷ

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
44	絵本コーナーの充実	公民館のロビーや保育室にある絵本・紙芝居コーナーを充実する。	拡充				ロビーについては、蛸池・庄内・千里公民館は図書館が隣接しているため図書館を利用できるが、中央公民館は図書館が近隣にないため、平成20(2008)年度内にロビーにスペースを確保し本棚を購入し、絵本コーナーを設置した。 絵本は、岡町図書館からのリサイクル本約100冊を設置した。さらに充実できるように検討していきたい。	公民館
45	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔154をご参照ください。〕	拡充		館利用人数	85,367人	新規購入は予算がなく難しかったが、図書館からのリサイクル本などを活用した。本を読みやすい環境にするためにロビーにテーブルをふやす。また、本の部屋では、読み物、絵本などを整理し、ゆっくり手に取りながら眺めたり、読んだりしている。親子でゆっくりすごせるスペースである「うさぎハウス」には乳幼児向けの絵本を集め、環境整備を行った。	豊中人権まちづくりセンター
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔154をご参照ください。〕	拡充		館利用人数 貸出人数	67,017人 ビデオ貸出63人、 CD貸出9人、図書貸出81人	図書室以外の親子利用ルームや児童室にも図書の配置増をはかり、実際にその場で本を開く姿が増えた。	蛸池人権まちづくりセンター
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔154をご参照ください。〕	拡充		実施期間	夏休み	夏休み学習相談を実施することで、すてっぷが身近な場所であると知ってもらえうきかけとなった。	すてっぷ
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。	拡充		貸出人数 貸出冊数	2,297人 5,964冊	活動に参加する子どもたちのほか、市民にも開放し、図書の閲覧・貸し出しを行っている。図書の展示のほか、館内の資料をもとに製作した作品や自然標本の展示を行い、本への興味を持ってもらえるように工夫している。	庄内少年文化館
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔155をご参照ください。〕	拡充		貸出校数 貸出冊数	39校 14,522冊	平成20(2008)年5月に図書館職員から絵本・紙芝居の貸出・配本の説明を受け、市立図書館からの団体貸出・配本サービスを受ける放課後こどもクラブが平成19(2007)年度から3校増えて39校となった。資料の新規購入と合わせて、子どもたちの身近な場所に本がある環境となっている。	子育て支援課
46	図書コーナーの充実	男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する図書や絵本を充実する。	拡充		児童書購入冊数	1,861冊	平成20(2008)年度も引き続き資料を購入した。入口から見えるところに新着の絵本や児童書を展示するほか、おはなし会当日には、受付に関連本を展示するなど工夫した。子どもが本をとりだせるよう書架の整理を実施した。	すてっぷ

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
47	見学・交流会	図書室や図書コーナーの充実と情報交流のため保育所(園)、幼稚園や他の施設の見学を行う。	拡充				平成20(2008)年度には各図書館の子ども室の担当者がエリアを分担して、市内の民間保育所(園)の聞き取り調査を行った。これをきっかけに「おはなし会がやってきた!」などの実施に結びついた。今後はこの調査の内容をさらに検討し、図書館サービスを展開していくことが課題。	図書館
48	本のある居場所づくり	「青年の家いぶき」や図書館などの公共施設に、くつろいで読書や学習ができるスペースを提供する。	継続		のべ閲覧人数、のべ貸出冊数	170人	普段過ごしているロビーに本があると気軽に手にとって読みやすいようだった。また、友達と同じ本を見ながら会話が弾んでいるような光景も見られた。毎週コーナーを設けることで、子ども達に認知してもらいやすくなった。飽きてしまわないようにレイアウトの工夫や、本の入れ替えなどが必要。	青少年課 市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
49	子ども読書活動ボランティアの育成・支援	子育て中の保護者が、就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせやパネルシアター、紙芝居等を行うボランティア活動を育成・支援する。	拡充		回数	13	パンダグループ修了の保護者の方でボランティアが立ち上がってきた。パネルシアターを作成。公演会が行えるようになって来た。(2~3回保育所の誕生会やパンダグループ、公園に出向いて等)	子育て支援センター
50	出前おはなし会	市民団体・子育てグループの子育て支援としてすてっぷの自主グループが読み聞かせを実施する。	継続				すてっぷのおはなし会サポートグループとつとこは、絵本を使い男女共同参画を推進する自主グループ。とつとこが活動の目的を推進できるよう、すてっぷの事業との連携や、他施設での活動を支援してきた。	すてっぷ
51	研修の機会の提供	自主グループの活動を支援するため学習の機会を提供する。	拡充		回数 参加延べ人数	とつとこ自主活動5回15人、ミーティングは別途	全体ミーティングを年3回、自主活動を2回	すてっぷ
52	情報の提供	読書活動に関する情報やおはなしボランティアの活動場所の提供を行う。	継続				活動場所の提供依頼があれば、積極的に行っている	公民館

子どもに関わる大人への啓発と研修

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成20年度(2008年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
53	職員研修	読書活動における居宅(在宅)親子の現状や課題等についてセンター間で情報を共有し、互いの事業点検を行う。また各センターが実施する保護者向け講座に、他センターの職員も参加し意識を高める。	拡充		保護者向け講座実施回数	5	支援センターで行っている図書館職員の「絵本講座」に、出来るだけ参加して絵本についての学びの機会を持ち、読書活動に対する認識を深め、個々の支援活動の中で活かしている。	子育て支援センター
54	職員研修	子どもに関わる施設の職員が、子どもの育ちの中での読書の大切さを理解するための研修を行う。 [164をご参照ください。]	拡充		研修回数 参加人数	1回 27人	平成19(2007)年度に引き続き、私立幼稚園教諭対象の絵本講座を図書館で実施した。今回は民間保育園の保育士にも参加を呼びかけた。	市立図書館 職員研修所 関係施設
55	指導員研修	放課後こどもクラブのおはなし会活動をより充実したものにするために、指導員に対して読書活動の意義を伝え、理解を深める取り組みを行う。	継続		実施回数 参加人数		研修のテーマが数多くあり、毎年実施ができない状況にあるが、2・3年に一度の割合で定期的に絵本(おはなし)の読み聞かせの大切さを研修会で伝えていきたいと考えてる。	子育て支援課 市立図書館
追加	図書館訪問	放課後こどもクラブの校外活動の一環に図書館を利用	新規		館利用クラブ	2クラブ	夏休みなどに、子どもたちに図書館に慣れ親しんでもらえるように、放課後こどもクラブの校外活動の一環として、図書館を利用する。子どもたちは普段と違う本に触れることができ、好評であった。	子育て支援課